

教育委員会だより

いそぎく

発行日 平成24年7月1日
編集・発行 葉山町教育委員会教育総務課
〒240-0112 三浦郡葉山町堀内2050-9
TEL. 046(876)1111
FAX. 046(876)1861

第240号



南郷中学校体育祭より

児童・生徒数の推移

	葉山小	上山口小	長柄小	一色小	小学校計	葉山中	南郷中	中学校計
昭和50年	1,593	462			2,055	753		753
昭和56年	1,629	494	834		2,957	710	450	1,160
昭和62年	736	342	578	530	2,186	887	535	1,422
平成11年	497	165	407	359	1,428	487	257	744
平成16年	594	197	398	414	1,603	438	211	649
平成24年	750	162	383	514	1,809	521	271	792

葉山町の 子ども達の 人数の推移

四月五日、葉山町立小学校及び中学校では、入学式が行われました。全国的に少子化が社会問題になっていきますが、葉山町ではどうでしょうか。小学校では、昭和五六年に二九五七人とピークを迎えましたが、平成一年には一四二八人まで少なくなりました。

また、中学校では、昭和六二年に一四二二人となりピークを迎えましたが、平成一六年には六四九人まで少なくなりました。しかしその後、葉山町では着実に子どもが増えていき、今年度は、小学校全体で一八〇九人。中学校全体では、七九二人が在籍しています。少しずつですが、現在も増加の傾向があります。

学校図書館へ寄付

堀内在住の佐藤正平さんより、学校図書館へ、計九三冊の本を寄付していただきました。

佐藤さんは、東日本大震災後、被災地への支援を行っているうちに、現地で子どもたちの本が不足していることを知りました。

子どもの教育にとっての本の重要性を改めて感じられ、このたび町内全小中学校図書館へ本を寄付されました。

葉山町では、各学校において、朝読書など、読書活動を推進しています。



一色小学校校長室にて



しおさい博物館の とりくみ

しおさい博物館では、より快適に利用していただくことを目的として、様々な取り組みを行っています。今回はその一部を紹介いたします。

○入り口正面に、ヨットを展示しました。この船は、昭和二五年、日本ヨット協会が、当時皇太子殿下でいらした今上陛下に献上した全長五メートルの「オリンピア・ヨール」という級式のヨットです。陛下が沼津でお乗りになった後、葉山の海岸においても皇后陛下とご一緒にお乗りになりました。その後平成十九年に葉山町

に御下賜されたものです。

○多目的展示

スペース

通常の展示以外にも、期間によって、葉山にゆかりの絵画などを展示いたします。また、園庭を見渡すことのできる大きな窓際にソファを置き、くつろいでいただける空間となっています。

○しろり貝

化石の展示

葉山がかつて、深海であった時代を証明す

る、深海に生息するしろり貝の化石を母岩ごと展示しました。

○開館時間の延長

開館を三〇分早め、閉館を三〇分延長しました。また、月末の博物館定休日を開館としました。

その他

○環境に配慮し電球のLED化を進めています。

○トイレの改修。和式から洗浄機能付き洋式トイレへ改修しました。

○町のホームページ内に「しおさい公園だより」を開設。催しや四季に移り変わる、公園の様子をお知らせしています。

また、今後の計画として

○丸木舟の展示

○気軽に館員に相談できる、オープンコーナーの設置

○子ども達を対象とした参加型学習会の開催、

などを考えています。

皆様の御来館をお待ちしております。

《しおさい博物館》

☎876・1155

定休日 毎週月曜

しおさい公園入園料三〇〇円
博物館は無料・駐車場あり



新たに展示されたヨット



窓際のソファからのながめ



多目的展示スペース

安全・安心にむけて 放射線検査について

葉山町では、小・中学校及び保育園の放射線測定を定期的に行っております。また、すでに町のホームページ上に結果を掲載しておりますが、小学校及び保育園給食・提供食の放射性物質の測定結果についてお知らせします。

提供期間	検査日	測定結果			検体量
		ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	
平成24年 4月 17・18・19・ 20・23日	4月 24日	検出せず <0.67Bq/kg	検出せず <0.66Bq/kg	検出せず <0.79Bq/kg	2.8L

小学校及び保育園給食・提供食の放射性物質測定結果

また、小学校の日光修学旅行の実施にあたり、平成二十四年五月九日、葉山町教育委員会及び葉山町校長会は、各小学校の宿泊地、昼食等の滞在先、見学地等の放射線量の測定を行い、さらに、日光市教育委員会、日光市総務部総務課危機管理放射能対策室、日光市産業環境部環境課等と、安全対策会議を行いました。

- 依頼先 財団法人 日本冷凍食品検査協会（横浜市金沢区福浦）
- 検査方法 ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリによる核種分析法
- 測定時間 2000秒
- 検体 小学校四校及び保育園で、実際に児童及び園児に提供した給食（五日分）を、毎日それぞれの施設で採取し、まとめて測定。
- 小学校の提供食は新一年生の給食が始まった四月十七日からの五日分としました。
- 前回は測定時間を600秒で測定しましたが、今回から2000秒で測定しております。
- 「<」の横の数値は検出下限値を表しています。
- 平成二十四年四月施行の新基準値は

飲料水	10 (Bq/kg)
牛乳	50 (Bq/kg)
乳児用食品	50 (Bq/kg)
一般食品	100 (Bq/kg)

測定した給食の献立

	小学校	保育園
4月17日	バンズパン 牛乳 タンドリーチキン 韓国風スープ	ごはん 肉じゃが ほうれん草の納豆和え 味噌汁（かぶ・わかめ）
4月18日	ロールパン 牛乳 コーンシチュー ブロッコリー	ごはん あじフライ マカロニソテー 味噌汁（キャベツ・ごぼう）
4月19日	赤飯 ヨーグルト えびフライ 田舎汁	ごはん 生揚げの挽き肉あんかけ かぼちゃサラダ 味噌汁（大根・小松菜）
4月20日	チーズパン 牛乳 めかじきのスパイス揚げ 野菜炒め	ごはん 鮭の照り焼き 田舎煮 味噌汁（高野豆腐）
4月23日	ミックスピラフ 牛乳・ハンバーグ わかめスープ くだもの	ハヤシライス コールスロー 味噌汁（玉ねぎ・わかめ）

合計、約四〇箇所において、測定を行った結果、放射線量は、0・054（0・169（ $\mu\text{Sv/h}$ ）でした。また、修学旅行当日の災害等に備えて、宿泊地及び食料の確保について、確認を行いました。現在、日光市の小学校では、通常授業が行われています。この結果については、さらに各小学校からお知らせする予定です。（参考・国の定める基準値）空間線量が1時間当たり0・23（ $\mu\text{Sv/h}$ ）以下



日光市にて、放射線量測定の様子

一色小学校創立三十周年

一色小学校 校長 中世 貴三



四月から一色小学校に着任致しました中世貴三（なかせ よしみつ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、他の三つの小学校の経験はありましたが、一色小学校は初めてです。そして、本年度は一色小学校創立三十周年を迎えます。そんな記念すべき年に校長として着任できて大変うれしく思います。

今から三十年前、私は葉山小学校に勤務しておりました。当時の葉山小学校は児童数が約千六百人もおり、四十学級もありました。当然教室は足らずに、視聴覚室や音楽室などの特別教室は普通教室になり、職員室や校長室はプレハブを建ててしのいでいました。私が担任をした四年生は七クラスもありました。

こんなマンモス校を解消するため、昭和五八（一九八三）年に、葉山中学校を新たに建設し、移転させた後、葉山中学校の校舎を転用して、一色小学校を開校いたしました。初代校長は手代木梅治先生で、私は八代目の校長

となります。当時の児童数は六一三名で現在より百名ほど多くいました。

一色小学校と聞いて思い出すのが、葉山小学校と分離する年の一月に行われた全校児童をあげてのお別れフェスティバル「葉山小祭り」です。午前中は、縦割りグループでお店を開き、独自の通貨「ルンリン」を手にいろいろなお店を回って楽しみました。私もゲームをしたり、こまなどの手作りおもちゃを買ったりしました。

午後は、校庭に出て、先生も子どもも思い思いの仮装をして、踊ったり、歌ったりするカーニバルを開催しました。先生方も御神輿をつくり、校庭を練り歩いたりもしました。最後には、風船に手紙をつけて大空に飛ばしました。後日千葉県館山から風船が届いたという便りがあったことを覚えています。

あれから三十年がたちました。一色小学校に着任したときに、何人かの保護者から「先生、私を覚えていますか」と声をかけられました。葉山小学校で教え、一色小学校に移った子どもたちが、今保護者となっていたのです。うれしいやらはさかしいやら。

時代が移って、生活は便利になり、価値観も多様化しましたが、今も昔も子どもたちにかわりはありません。未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、全力で取り組んで参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「学校の風景をみながら…」

長柄小学校 教頭 市川 久美子



初任から十五年間葉山小学校、その後十二年間長柄小学校でお世話になり、四年間の教育委員会勤務を経て、再び長柄小学校に赴任いたしました。これが私の経歴です。

教頭職は年間二五〇枚以上の文書処理するとききましたが、確かにそうかもしれないと思いつながら委員会で各学校の教頭先生あてに次々と文書を送付していた自分を思い起こしながら必死で過ごしてきた二ヶ月間でした。

さて、念願かなって学校現場にもどることができましたが、直接子どもと関わる機会は少なく、先生方の日々の教育実践をみせていただきながら、ただただうらやましく思っております。この立場で、これからどうしたら子どもたちと関わっていけるのか考えていた矢先、休み時間に子どもたちが校長室に一人、二人と校長先生に会いに来ることに気がきました。一人の子を呼び止めて「何しにきたの」と尋ねると、「詩をいいにきたの。」や「校長先生に詩をきいてもらおうの。」という応えが即座に返ってきました。

しばらく様子をみてみると、校長室から同じ詩を暗誦する子どもたちのかわいい声が出て、そのうち、やっとうれしうれしうに、なにやら小さな長方形の紙をもって出てくる子どもたち。その行先は、職員室前の壁に貼られた模造紙であり、その模造紙に自分の名前を書いた紙を貼るようになっていくことをききました。

毎月校長先生がこの模造紙に「今月の詩」を印刷して貼りその詩を覚えたら校長室で暗誦し、合格すると自分の名前を書いた紙を貼ることになっていく。なるほど、一編の詩を通して、授業以外でもこんな風に全校の子どもたちの知的好奇心を刺激し、努力すること達成感を味わわせることができるのだということに気づきました。

自分のクラスを持ち、日々子どもたちの成長をみられることは担任としてこの上もなくうれしいことではあります。この上もなくうれしいことではあります。ですが、学校全体の風景をいつも目にしながら、様々な学年の個性豊かな子どもたちと同じ目線で会話を交わすことができ、真剣にクラスの子どもたちのことを語り合う先生方の様子をみられるのもうれしいことであると思っております。

そしてこれからは、いつも子どもたちが笑顔で過ごせるような学校づくりをコーディネートしていくことが自分の仕事であると思っております。